

(様式2)

## 放射線等に関する教育実践事例

|                      |  |             |          |     |
|----------------------|--|-------------|----------|-----|
| 学校番号・学校名             | 〈中・12〉   | いわき市立       | 久之浜      | 中学校 |
| 〈実施日〉                | 平成27年12月 8日(火)   |             |          |     |
| 〈実践教科等〉              | ※当てはまる番号に○を付けてください。4は( )に教科等を入れてください。  |             |          |     |
| ① 理科                 | 2 学級活動   | 3 総合的な学習の時間 | 4 その他( ) |     |
| 〈実践内容〉               | 平成27年度文部科学省委託「科学的な理解を進める放射線教育」事業<br>出前授業プログラム(エネルギー・環境理科教育推進研究所 宇田川功様)                                 |             |          |     |
| 1 対象                 | 全学年(104名) ※学年ごとにそれぞれ50分授業を実施   |             |          |     |
| 2 概要:                |  |             |          |     |
| (1) 1年生              | ねらい:放射線についての基本的な理解を図る。   |             |          |     |
|                      | ①放射線に関する既有知識の確認  |             |          |     |
|                      | ②【実験1】空間線量の測定  |             |          |     |
|                      | ③【実験2】霧箱観察   |             |          |     |
|                      | ④まとめ   |             |          |     |
| (2) 2・3年生            | ねらい:放射線をなるべく浴びないようにするにはどうしたらよいか知る。   |             |          |     |
|                      | ①前年度の学習の振り返り   |             |          |     |
|                      | ②【実験1】線源からの距離と放射線量との関係の測定  |             |          |     |
|                      | ③【実験2】金属等による遮蔽による放射線量の減衰の測定  |             |          |     |
|                      | ④まとめ   |             |          |     |
| 〈成果〉                 | ○ 前年度から継続して行っている授業プログラムであり、2・3年生については前年度の内容を踏まえて、さらに学習を進めることができた。                                      |             |          |     |
|                      | ○ 学校の実態として、震災直後期に、放射線の影響から校舎を使用できなかったという経緯もあり、放射線について身近な問題であると感じている生徒が少なくない。そのような実態と結び付けて本授業を行うことができた。 |             |          |     |
|                      | ○ 授業の内容も、実験等の活動を取り入れたアクティブなもので、生徒たちも興味を持ってねらいに迫ることができた。  |             |          |     |
| 〈課題〉                 | ○ 本授業で得た知識をいかに実生活に関連させていくかという点については、昨年度からの継続した課題である。   |             |          |     |
|                      | ○ 本年度以降も同事業の支援を受けることができるかという点について見通しの持てない部分もあり、授業の内容や方法の自校化も必要であろうが、知識や技術、また設備や器具等の面で困難な点が少なくない。       |             |          |     |
| 資料作成担当者職(教諭)氏名(花塚 寛) | 学校電話番号(82-3021)  |             |          |     |

### 【資料作成上の注意】

- 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
- 提出期限の平成28年8月1日(月)までに電子メールで送信してください。  
(送信先: [kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp](mailto:kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp))